

## 「泥炭性軟弱地盤対策工マニュアル技術セミナー」を開催しました

寒地地盤チーム

寒地土木研究所では、6月から7月にかけて「泥炭性軟弱地盤対策工マニュアル技術セミナー」を全道の4箇所ですべて5回開催しました。このセミナーは、今年の3月に改訂した「泥炭性軟弱地盤対策工マニュアル」の改訂のポイントをわかりやすく解説するために行ったものです。

泥炭性軟弱地盤は、沖積粘土などからなる一般的な軟弱地盤とは大きく性質を異にする極めて軟弱な地盤であることから、建設事業などの大きな妨げとなってきました。本マニュアルは、現在までに得られた多くの経験と最新の研究成果を整理し、泥炭性軟弱地盤上に道路などを建設・維持管理する際に必要な調査・設計・施工の標準的な考え方をとりまとめたものです。沈下予測が難しいといわれている泥炭性軟弱地盤に対して、簡便で精度の高い独自の予測法を取り入れている点などが、本マニュアルの特徴です。

本マニュアルは、平成14年3月の発刊から9年が経ち、実状と合わない部分も見受けられるようになってきました。さらに、平成18年度から22年度までの土木研究所の第2期中期計画の間に長期沈下予測手法や新技術・新工法などに関する研究成果を得ることができました。

そこで、泥炭性軟弱地盤に関する最新の研究成果の活用を図るため、「泥炭性軟弱地盤対策工マニュアル改訂検討委員会」を立ち上げ、有識者の方々のご意見を賜りながら、改訂作業を行い、今年の3月に発刊したところです。

今回の改訂において、FEM 変形解析に用いる土質パラメータの決定法や地震時の検討法など新たな調査・設計技術を盛り込むとともに、真空圧密工法など設計法・施工管理法に進展があった対策工法に関する知見を取り入れるなど、内容の充実を図っています。

セミナーのプログラム、開催地と参加人数は以下のとおりでした。

### ■プログラム

- 改訂の要点 西本 首席研究員
- 調査・設計 林 主任研究員
- 対策工(圧密促進工法) 林 主任研究員
- 対策工(固結工法など) 橋本 研究員
- 質疑

### ■各開催地の参加人数

6月24日：寒地土木研究所講堂	107名
7月11日：寒地土木研究所講堂	112名
7月14日：釧路地方合同庁舎会議室	124名
7月19日：旭川地方合同庁舎会議室	88名
7月21日：函館開発建設部会議室	41名
	計472名

本マニュアルは、既に国土交通省北海道開発局の準拠する技術基準のひとつに採用されており、泥炭性軟弱地盤に関わる技術者には、必携の書となっています。今後も、実務者に有益な技術マニュアルとして活用されることが期待されます。

(文責：西本 聡)



7月11日のセミナーの様子(寒地土木研究所講堂)